

団体名：

やちよ食農キッズクラブ

団体紹介：

コミュニティーハウス「茶み菜（チャイナ）」を拠点に集まった地域内外の子どもたちが、食・農・自然の好循環を実践する体験型活動グループです。

主な活動内容は：

【有機再生農食体験】地域に密着した有機再生農業体験

【参加型キッズ食堂】子供たちが参画する職業体験型食堂

【体験学習寺子屋】暮らしの智慧を身につける実践学習

活動状況・実績：

当クラブでは、昨年度の活動を継続し、今年度もレギュラーキッズメンバーの親子が中心となり、合宿形式での準備を行いながら、地域に開かれた食堂公開イベントを企画・運営し、年間3回開催しました。

各回とも季節や伝統行事に合わせたテーマを設定し、

- ・10月 「ピザ体験食堂」
- ・2月 「春節お祝いフェア」
- ・3月 「3年間振り返り合宿」

を実施しました。

教育委員会のご協力のもと、地域の小学校・保育園へ参加募集チラシを配布したところ、多くの親子から申し込みがあり、地域の関心の高さがうかがえました。

活動にはレギュラーキッズや保護者スタッフに加え、外部講師の方々にも参加いただき、年齢や地域を越えた交流の場として、和やかな雰囲気の中で活動を行いました。

10月の「ピザ体験食堂」では、恒例となったピザ作りに子どもたちも慣れ、手際よく作業を進める姿が見られました。自分たちで焼き上げたピザは格別の味となり、達成感とともに交流の時間を楽しみました。

交流タイムでは、安芸高田市応援コンサートで来訪されたプロの音楽家による音楽交流会を開催しました。イントロクイズでは子どもたちが積極的に参加し、自由に踊ったりフォークダンスで輪になったりと、音楽を通じた和やかな交流の時間となりました。

2月の「春節お祝いフェア」では、キッズ食堂に加えキッズマルシェも開催しました。子どもたちによる手作りコーナーは大人にも人気で、会場はにぎわいを見せました。

実施効果：

地域の子どもたちにとって、学校外で安心して集えるコミュニティの場として定着しつつあります。年齢や地域を越えて集まった子どもたちは、活動を通じて自然に打ち解け、まるで大家族のような温かな交流が生まれました。

合宿形式の活動では、子どもたちが自主的に風呂準備や布団の出し入れ、片付けなどを行い、生活力や協調性の向上が見られました。寝食を共にする時間を通して友情が深まり、互いに助け合う姿が随所に見られました。

また、部活動などで全日程に参加できないメンバーも、活動の雰囲気を味わうために顔出してく

れて、主体的に関わる姿が見られました。さらに、保護者が参加できない場合でも「子どもだけでも参加したい」と希望する声もあり、安心して子どもを預けられる場として信頼が深まっている様子がかえりました。親子での参加にとどまらず、子ども自身が主体的に関わりたいと感じる居場所として定着してきています。保護者同士のつながりも深まり、子どもだけでなく大人同士の交流も生まれ、地域コミュニティとしての広がりが感じられました。

参加した親子からは「また参加したい」「ここに来ると元気になる」といった声も多く寄せられ、心身のリフレッシュや居場所づくりとしての効果が確認されました。

工夫したこと：

今年度は、これまでの「食農体験」を軸とした活動に加え、新たな交流要素を取り入れることで、活動の幅がさらに広がりました。

まず、10月のイベントでは、食農体験に加えてプロの音楽家による音楽交流会を実施しました。音楽を通じて子どもたちが自然に打ち解け、踊りやフォークダンスなど身体を動かす活動へと広がり、食と文化を融合した体験型交流として発展しました。

また、2月の春節お祝いフェアでは、キッズ食堂に加えキッズマルシェを開催しました。子どもたち自身が企画・制作・販売に関わることで、社会体験や主体性を育む機会となり、活動の学びの幅が広がりました。

さらに、今年度は海外だけでなく、県外（岡山県・滋賀県）からの参加もあり、地域を越えた交流が広がりました。遠方からの参加者も合宿やイベントに積極的にに関わり、子ども同士の絆が深まるとともに、保護者同士の交流も生まれました。

このように、地域・世代・文化を越えたつながりが生まれ、キッズクラブが「地域に開かれた交流拠点」としてさらに成長した一年となりました。

課題や展望：

当クラブは継続的な活動により、レギュラーメンバーにとって安心して過ごせる場として成長してきました。一方で、今後さらに活動の幅を広げるためには、新規参加者が参加しやすい環境づくりが課題となっています。

初めて参加する子どもたちが安心して馴染めるよう、サポート体制の充実や体験プログラムの工夫を進めていきたいと考えています。

今後の展望として、野外キャンプなどアウトドア活動を取り入れ、自然の中での体験を通して、さらに深い学びや交流の機会を提供したいと考えています。野外活動では、自然の中で協力し合う経験を通して、主体性やチームワークを育むことが期待されます。また、地域を越えた交流や多様な文化に触れる機会としても発展させていきたいと考えています。

今後は、安全面や運営体制の整備を進めながら、子どもたちがより豊かな経験を得られる活動を継続していきます。